

Googleスライド挿入用音声作成アプリ 使い方ガイド

スライドごとに、読み上げ音声（原稿を入力）か、ご自身の声などの音声ファイルを選んで、スライド用の音声を作り、あなたの Google ドライブに保存します。録音やファイル変換の手間なく、「音声付きスライド」が作れます。

■ はじめに用意するもの

- ・ Google アカウント（ふだん学校で使っているものでOK）
- ・ アプリのURL → 【ここにアプリのURLを記入してください】

■ 使い方（5ステップ）

【1】URLを開く

配布されたURLを、パソコンまたはiPadのブラウザで開きます。

【2】初回だけ「許可（承認）」をする <ここが大事です>

はじめて開いたとき、Google から「このアプリが Google ドライブへアクセスすることを許可しますか？」という確認画面が出ます。作った音声をあなた自身のドライブに保存するために必要な手続きです。

- ・ 自分の Google アカウントを選ぶ
- ・ 「続行」→「許可」をクリック

承認は最初の1回だけで、次回からは出ません。

もし「このアプリは Google で確認されていません」と出たら

学内で配布している安全なツールです。次の順に進めてください。

- ・ 「詳細」または「詳細設定」をクリック
- ・ 「（アプリ名）に移動」をクリック
- ・ そのあと「続行」→「許可」

【3】保存先と音声を設定する

- ・ 保存先：「名前で新規作成」を選び、フォルダ名を入力します（例：音声スライド教材、あいさつ など）。あなたのドライブの中に、その名前のフォルダが作られます。
- ・ 読み上げの音声：標準は「女性・自然」。お好みで変更できます（原稿を入力するスライド用）。
- ・ 読み上げ速度：スライダーで「ゆっくり～はやい」を選べます。標準のままでもOKです。

※「URL/IDで指定」は自分のフォルダを使う上級者向けです。ふだんは「名前で新規作成」を選んでください。

【4】各スライドの音声を用意する（2通りから選べます）

スライド1枚につき1つの欄があります。次のどちらかで音声を用意します。混在もできます。

- ・ 読み上げ音声にする → 欄に読み上げたい文章（原稿）を入力します。

- ・自分の声などの音声を使う → 「ファイルを選択」を押し、音声ファイルを選びます。iPadのボイスメモなどでOK。スライド対応の形式に自動変換されます。

音声ファイルを選ぶと原稿欄はグレーになり、その音声が使われます。「解除」を押すと原稿入力に戻せます。

欄が足りなければ「+ スライドを追加」で増やせます。不要な欄は右の × で消せます。

【5】 音声を作って保存する

「音声を生成して保存」を押します。各欄に「✓ slide_01 …」と表示されれば成功です。あなたのドライブの指定フォルダに、slide_01, slide_02 …と順番に保存されます。

■ iPadのボイスメモを使うには

1. iPadの「ボイスメモ」アプリで録音する
2. その録音の「…」または共有ボタン
→ 「"ファイル"に保存」で、ファイルアプリに保存する（このiPad内、または iCloud Drive のどちらでもOK）
3. アプリの画面で「ファイルを選択」→ 保存した録音を選ぶ
4. 自動でスライド対応の音声に変換され、ドライブに保存されます

※ ファイルが薄く表示されて選べないときは、iCloud上にあってまだ端末に降りていない状態です。ファイルアプリで一度タップしてダウンロードしてから選んでください。

■ Googleスライドに音声を入れる方法

1. Google スライドで、音声を入れたいスライドを開く
2. メニューの「挿入」→「音声」
3. さきほどのフォルダの中から slide_01 などを選ぶ
4. スライドにスピーカーのアイコンが表示されます
5. アイコンを選び、右側の設定で「クリック時に再生」または「自動再生」を選べます（発表時にアイコンを隠す設定もできます）

これをスライドの枚数ぶん繰り返せば、音声付きスライドの完成です。

■ うまくいかないときは

- ・「アクセス権が必要です」と出た → 別の Google アカウントでログインしている可能性があります。画面下の「ログインしているアカウント」を確認し、自分のアカウントに切り替えてください。また、保存先は「名前でも新規作成」を選ぶとこの表示は出ません。
- ・音声ファイルが選べない（薄い） → iCloud上の未ダウンロードの状態です。ファイルアプリで一度タップしてダウンロードしてから選んでください。
- ・スライドで音声が届かない → 挿入した音声アイコンを選び、再生設定（クリック時／自動）を確認してください。

■ 上手に使うコツ

- ・原稿は「これで確定」となってから生成すると、作り直しが減ります。

- ・ 1枚の文章は短めにすると、聞きやすく、作るのも速くなります。
- ・ 自分の声の音声ファイルは、1スライドあたり数分以内を目安にすると快適です。
- ・ 同じ番号で作り直すと、前の音声は新しいものに置き換わります。

ご不明な点があれば、お気軽にお問い合わせください。音声スライドづくりをお楽しみください。